

とよた市議会だより



目次

■ トップインフォメーション	常任委員会について	2
■ 議案説明・討論		4
■ 議案審議結果		5
■ 常任委員会		6
■ 一般質問	市政を問う！ 17人の議員が質問	8
■ トピックス		
	豊田地域医療センターに地域リハインノベーションセンターが開設	
	一般質問の生中継・録画放送	12

表紙の写真 (議案第124号から第127号関係)

イメージ図の左側が、建築が予定されている(仮称)豊田市博物館です。既存(右側)の美術館と共に、一体的な整備がなされます。

今定例会では、(仮称)豊田市博物館の工事請負契約等の内容について、審議がなされました。

定例会号

12月市議会

令和4年2月1日



常任委員会について

常任委員会とは

地方公共団体の議会が、地方公共団体の事務に関する調査や議案などの審査を行わせるために条例で定めて常設する委員会です。市政は範囲が広く内容も複雑なため、本市では予算決算委員会のほか、5分野(産業建設、環境福祉、教育社会、地域生活、企画総務)の常任委員会を設け、議案を付託して分野別に詳しく審査しています。

市議会報告会兼意見交換会とは

常任委員会は、付託された案件の審査を行うだけでなく、所管する内容の重要事項について、調査を行っています。市議会では、平成29年度から予算決算委員会を除く5つの常任委員会ごとに毎年テーマを決め、関係団体との市議会報告会兼意見交換会を行っています。各団体の想いや意見を直に確認させていただくことで、今後の議会活動や豊田市のまちづくりに生かしていきます。



産業建設委員会



テーマ

地域農業の現状と課題について

- 開催日:令和3年11月11日
- 場所:豊田市議会議事堂 南73委員会室
- 意見交換団体:あいち豊田農業協同組合

あいち豊田農業協同組合から、平坦地域や中山間地域における地域農業の現状等について紹介があり、担い手不足や高齢化、温暖化による農業への影響など、直面する課題の解決に向けて意見交換が行われました。



環境福祉委員会



テーマ

コロナ禍での障がい者の就労の現状と課題

- 開催日:令和3年11月11日
- 場所:豊田市議会議事堂 南73委員会室
- 意見交換団体:豊田市身障協会、豊田市育成会

豊田市身障協会と豊田市育成会から、コロナ禍での障がい者の就労の現状と課題について紹介があり、コロナ禍の影響下における今後の障がい者支援について意見交換が行われました。



教育社会委員会



テーマ

部活動の現状と今後について

- 開催日:令和3年11月11日
- 場所:豊田市議会議事堂 南73委員会室
- 意見交換団体:地域学校共働本部(保見・竜神・逢妻・小原)

地域学校共働本部(校長や部活動コーディネーターなど)から、現在の部活動や、今後の休日部活動の実施に向けた準備の状況、課題などについて紹介があり、今後の部活動について意見交換が行われました。



地域生活委員会



テーマ

山村地域の定住促進に向けた取組と課題

- 開催日:令和3年11月4日
- 場所:豊田市役所 足助支所
- 意見交換団体:旭地区定住連絡会はじめ7団体

定住促進委員会(山村地域の定住促進に取り組む団体)から、これまでの活動や定住促進委員として活動する上での課題などについて紹介があり、今後の定住促進における課題の解決に向けて意見交換が行われました。



企画総務委員会



テーマ

SIBの進展による社会的問題の解決を目指して

- 開催日:令和3年11月11日
- 場所:とよたエコフルタウン
- 意見交換団体:SIBを活用した取組を行う事業者・団体

SIBを活用した取組を行っている事業者・団体から、取組内容や課題について紹介があり、今後、SIBをどのように進展させ、市民へ周知していくかについて意見交換が行われました。

※SIB(ソーシャルインパクトボンド):民間事業者・資金提供者と連携して社会問題の解決を目指し、成果に応じて報酬を支払う仕組み



条例の制定、補正予算など35議案を議決

山村地域の持続的発展と、都市と山村の共生を目指します

【議案第104号】山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例

この条例により、山村の価値や市の責務、市民、山村住民、事業者等の役割が規定され、市は基本方針に則り、山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する計画を策定します。山村地域の持続的発展と都市と山村の共生を目指し、おいでん・さんそんプランに基づき、山村地域における施策を推進していきます。

公契約の適正な履行、労働環境の確保及び地域経済の活性化を図ります

【議案第105号】公契約条例

この条例において、公契約に係る基本方針、市や受注者等の責務などが規定されます。これにより、公契約の適正な履行の推進、労働者の適正な労働環境の確保及び地域経済の活性化を図ります。

討 論

12月市議会定例会の最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等の議員が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。*発言順に記載

根本美春 諸 派

世界ラリー選手権開催負担事業の補正予算は、山村活性化との関係に疑義があり、反対。

議案第114号：反対。持続可能な地域の実現・活性化には、山間地の美しさ・価値を共有し、山間地や自然環境を守り続けている住民の暮らしに向けた視点と、産業振興及び住民の暮らしの維持、住み続けられるまちづくりへの施策推進が基本。大型イベントによるにぎわいで生み出される一時の経済波及効果と、山村の将来にわたる活性化との関係には疑義がある。民間が行う世界ラリー選手権に、運営主体として税金を投入すること、教育施設を民間委託している方向性との矛盾を指摘し、反対。

北川敏崇 自民クラブ

世界ラリー選手権開催負担事業の補正予算は、市全体への波及効果を期待して、賛成。

議案第114号：賛成。世界ラリー選手権の招致が決定した場合、国内外から観戦客が訪れることで、飲食や宿泊等の消費活動による地域への経済効果、また、稲武や三河湖といった地名が競技コースの名称に入ることや、中山間地の秋の景観が映像として発信されることによるプロモーション効果が期待される。さらに、ラグビーワールドカップ2019の経験を生かし、来訪者に向け本市の魅力を発信することで、市全体への波及効果を生み出すことを期待して、賛成。

岡田耕一 諸 派

(仮称)豊田市博物館建築工事は、市内外多くの方が来館・活用される施設となることを期待し、賛成。

議案第124号から第127号まで：賛成。(仮称)豊田市博物館の整備事業費は、郷土資料館にある旧平岩家住宅の移築なども含めて、計画どおりに進んでいることを評価。製造請負契約の締結は、建築工事と別発注にしたことで、市が直接的に管理・監督を行い、文化庁からの指示事項等を円滑に協議し、精度の高い内容に仕上げることができると判断したことは妥当。完成の暁には、年間パスポートや近接館との共通観覧券等を発行し、市内外の方が来館・活用される施設となることを期待し、賛成。

鈴木孝英 市民フォーラム

公契約の実効性の高まりや経済成長への好循環を期待して、賛成

議案第105号：賛成。本市はこれまでも公契約基本方針として、労働条件の確保や地域経済の活性化を図ってきたが、今回、条例として市内事業者を活用する取組や、労働環境の報告を始めとする一連の措置を規定することで、実効性がより高まるものと評価。条例の制定を通じて、新・担い手三法が要請する働き方改革の推進や、災害時の緊急対応強化に応え、ひいては市民の安全・安心や経済成長への好循環をもたらすことを期待して、賛成。

榎屋小百合 公明党

山村地域におけるまちづくりの実効的な取組が行われることを期待して、賛成

議案第104号：賛成。条例では、山村の価値を定義することで、多様な魅力を市全体で共感し、市については、まちづくりの責任ある主体としての役割を果たすための「責務」を、市民、山村住民及び事業者等については、各主体の自発的な関わり方を期待し「役割」を規定している点を評価。今後は、条例を山村地域におけるまちづくりの指針として運用するとともに、行政計画等の策定などにより、実効的な取組が行われることを期待して、賛成。

中島竜二 諸 派

教育行政計画の策定により、教育の質の向上や、学習しやすい環境づくりが進むことを期待して、賛成

議案第138号：賛成。本計画の特徴として、学級編成の標準を30人とする少人数学級の推進、医療的ケア支援体制の充実、教職員の多忙化解消の推進などが挙げられるとともに、子ども達に質の高い教育を提供できる環境づくりは重要で、本計画の目標を達成するためには着実に取り組む必要がある。文部科学省が掲げている多様な子供たちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びの実現の理念の下、子ども一人ひとりの発達ニーズに応じて、学習しやすい環境づくりが進むことを期待して、賛成。



議案審議結果

～とよた市議会だより～

令和3年

12月
定例会号

※議案名など一部省略して記載しています

議案	12月市議会定例会に提出された案件 ※議案名など一部省略して記載しています	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
			自民クラブ 27名		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
第104号	山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例	原案可決	27	0	10	0	4	0	3	0
105	公契約条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
106	事務分掌条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	2	1
107	市税条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
108	稲武福祉センター条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
109	指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例及び指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
110	国民健康保険条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
111	市営住宅条例等の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
112	特定都市河川浸水被害対策法に基づく市長の許可を要する雨水浸透阻害行為の規模等を定める条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
113	水道事業給水条例の一部改正条例	//	27	0	10	0	4	0	3	0
114	令和3年度一般会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	2	1
115	// 国民健康保険特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
116	// 都市計画事業土地区画整理特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
117	// 分譲住宅建設事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
118	// 卸売市場特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
119	// 介護保険事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
120	// 後期高齢者医療特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
121	// 産業用地造成事業特別会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
122	// 下水道事業会計補正予算	//	27	0	10	0	4	0	3	0
123	工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その3))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
124	// ((仮称)豊田市博物館建築工事)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
125	// ((仮称)豊田市博物館電気設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
126	// ((仮称)豊田市博物館給排水衛生空調設備工事)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
127	製造請負契約の締結((仮称)豊田市博物館展示品・収蔵庫等製造)	//	27	0	10	0	4	0	2	1
128	財産の取得(こども園遊具(市立永新こども園ほか4園))	//	27	0	10	0	4	0	3	0
129	指定管理者の指定(視聴覚ライブラリー)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
130	// (総合体育館及び武道館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
131	// (梅坪浄水運動広場)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
132	// (里山くらし体験館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
133	// (旭農林会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
134	// (森林会館)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
135	// (貝津駅前駐車場ほか4駐車場)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
136	// (市営住宅青木住宅ほか23施設)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
137	指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定(松平運動広場の指定期間の変更及び松平運動広場ほか2施設の指定管理者の指定)	//	27	0	10	0	4	0	3	0
138	教育行政計画の策定	//	27	0	10	0	4	0	3	0
同意	第6号 人権擁護委員の推薦(再任:加藤章氏、星田恵子氏 新任:稲熊実枝子氏、内山雅代氏、平松学氏)	同意	27	0	10	0	4	0	3	0
報告	第11号 専決処分報告(損害賠償額の決定7件、工事請負契約の変更7件、訴えの提起2件、補正予算1件)									
	12 専決処分報告(補正予算1件)									
請願・陳情	第1号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願	不採択	0	27	0	10	0	4	2	1
	2 新型コロナウイルスワクチンの未接種者を偏見・差別させないことを求める請願書	//	0	27	0	10	0	4	2	1
	第5号 特例承認ワクチン未接種者差別・接種強制禁止を求める陳情書									



常任委員会とは

常任委員会は、地方公共団体の議会が地方公共団体の事務に関する調査、議案及び陳情等の審査を行わせるために、条例で定め常設する委員会です。本市では、以下の6つの委員会が常任委員会となります。

産業建設 委員会

12月9日、付託された6議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。請願1件は不採択としました。

【第123号】工事請負契約の締結(都市計画道路高橋細谷線道路改良工事(長興寺第1工区その3))

質問 既設橋の改良と併せて修繕を行うとのことだが、既設橋の状態と、具体的な修繕の内容はどのようなか。

答弁 既設橋については、平成29年度に法定点検が実施され、一部区間において5年以内に修繕が必要な早期措置段階と診断された。このため、既設橋の改良に併せて、仮設足場を兼用して修繕を実施する。

具体的な修繕の内容としては、矢作川の右岸側に位置する2径間の橋桁と、支承に対する塗替え塗装及び塗装の劣化を防止するための伸縮装置の止水対策等を実施していく。

【第134号】指定管理者の指定(森林会館)

質問 指定管理者である一般社団法人ウディーラー豊田は、施設の設置目標に応じた取組が高く評価されているが、具体的にどのような取組を評価しているのか。

答弁 取組としては、地域材を活用した時計や御朱印帳といった木製グッズづくりのワークショップの定期的な開催や、しいたけ菌や木製塗料の販売など地域のニーズに応じたものが挙げられる。また、施設内において、地域材を活用した木製グッズや家具、建築部材のサンプルなどを数多く展示し、来館者へPRするほか、その取組が多くメディアに取り上げられ、地域材の利用促進を始め施設の設置目的に大きく寄与していると評価している。

環境福祉 委員会

12月10日、付託された2議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第108号】稲武福祉センター条例の一部改正条例

質問 条例の一部改正の経緯と、期待される効果はどのようなか。

答弁 ファミリーシップ宣言を契機として、高齢者世帯の状況を勘案し、同居の家族・親族を含めた改正を検討した。期待される効果としては2人で1室の利用ができる者の範囲を拡大することで、夫婦以外の高齢者のみの世帯で暮らす人たちが入所後も同じ部屋で住めるようになり、入所に伴う環境の変化による負担を減らすことができると考えている。

【第109号】指定障害福祉サービスの事業等の設備、運営等に関する基準等を定める条例及び指定通所支援の事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正条例

質問 国が改正した省令に基づき、条例の一部改正を行うとのことだが、期待される効果はどのようなか。

答弁 今回の改正により、人権の擁護、虐待の防止等のために必要な体制の整備等について、これまで努力義務であったものを義務付けることで、事業所における責務が明確になり、対策の確実な実施が必要になる。

このことから、改正による効果は、障がい福祉サービス事業所等が提供するサービスの水準確保や、施設の利用者・入所者がより一層、安全に、安心して利用できることにつながるものと期待できる。

教育社会 委員会

12月13日、付託された10議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第127号】製造請負契約の締結((仮称)豊田市博物館展示品・収蔵庫等製造)

質問 収蔵庫の規模及び展示室等の特徴はどのようなか。

答弁 博物館の館内収蔵面積は約1,400平方メートルである。館内収蔵庫には、本市の収蔵資料約14万点のうち、厳密な空調環境が必要な古文書や美術工芸品等の資料を中心に、当初の段階で約10万点が収蔵され、今後を含め約16万点が収蔵可能の見込みである。

また、館内収蔵庫や展示室は、温湿度環境のみならず、総合的病害虫管理に配慮したものであり、重要文化財等の収蔵や展示が可能である。

【第138号】教育行政計画の策定

質問 第4次教育行政計画はどのような体制で推進していくのか。また、点検評価の仕組みはどのようなになるのか。

答弁 計画の推進に当たっては、庁内関係所属からなる推進会議にて、毎年度、事業の進捗確認を行い、教育委員会議に報告し、意見を聴く。

また、点検評価の仕組みとしては、主要な事業について、教育委員に外部有識者を加えたメンバーにより現地視察等を行い、点検評価を実施する。その結果を取りまとめ、議会に報告するとともに、市民にも公表する。そして、点検評価結果等に基づき、必要に応じて計画を見直すなどし、PDCAサイクルを回すことで計画の推進を図っていく。



委員会

地域生活

委員会

12月14日、付託された3議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。

【第113号】水道事業給水条例の一部改正条例

質問

直近10年における隔測契約の新規申込件数と契約更新の状況はどのようなか。また、新規の隔測契約を廃止する主な理由はどのようなか。

答弁

平成23年度から令和2年度までの10年間において、隔測契約の新規申込件数は、多い年度で2件、平均すると年1.3件である。また、過去10年間で更新時期に至った45棟のうち、隔測への更新は3棟のみで、残りの42棟は直読契約に変更している。

隔測契約の新規申込みを廃止する主な理由は、隔測契約の需要が低下したことに加え、市の責任で水道メーターを設置・管理することで、計量法施行令に定められる8年の有効期間を超えるメーターの発生を未然に防ぐことである。

【第132号】指定管理者の指定
(里山くらし体験館)

質問

指定管理期間を3年に縮小し、施設機能の見直しを図ることのだが、より利用しやすくするための見直しの方向性はどのようなか。

答弁

里山くらし体験館に指定管理者制度を導入した令和元年度以降、施設利用者や空き家情報バンク利用者登録申込者の声として、山村地域への定住ニーズの高まりが見られる。このことから、見直しの方向性としては、当該施設の設置目的である山村地域の定住促進と地域の活性化効果が高まる運営とするため、閉館日や長期滞在などの宿泊機能のあり方を含め、施設利用者が定住の参考としやすい運営について検討を加えていく。

企画総務

委員会

12月15日、付託された5議案を審査し、議案の全てを全会一致にて承認しました。請願1件は不採択としました。

【第104号】山村地域の持続的発展及び都市と山村の共生に関する条例

質問

現在、既に人口減少が進んでいる中で、どのような考え方・体制の下、持続的なまちづくりを推進していくのか。

答弁

持続的な山村地域のまちづくりの推進においては、山村の価値や魅力を広く共有すること、多様な価値観を尊重し、共働の取組として推進すること、都市と山村が互いにつながり、支え合うことなど、条例第3条で位置付ける基本方針を基に進めていく。この基本方針に基づき、行政計画であるおいでん・さんそんプランやその庁内体制としてのおいでん・さんそん推進本部により、施策を着実に進めるとともに、地域住民や関係団体との連携、共働により、地域課題の解決に取り組んでいく。

【第105号】公契約条例

質問

条例に関わる今後の運用をどのように行っていくのか。

答弁

市の責務として、条例第3条に定める基本方針に則り、公契約に関する施策を総合的に実施することを規定している。これを果たすべく、案件の発注基準や、総合評価方式などの入札制度の見直しを含め、公契約施策を展開する上での制度基盤として本条例を運用していく。また、公契約の適正な履行の推進、労働者の適正な労働環境の確保、地域経済の活性化は、本条例の普遍的な目的ではあるが、公契約を取り巻く環境は、時勢に応じて大きく変化する。したがって、運用状況と効果を見極め、適時適切に見直しをしていく。

予算決算

委員会

12月8日から17日まで、付託された補正予算の議案9件を審査し、全ての案件を承認しました。

【第114号】令和3年度一般会計補正予算

質問

豊田市駅周辺の整備は、2026年アジア競技大会を一つの目標時期としたが、今後の駅舎整備のスケジュールはどのようなか。

答弁

線越明許に関する議決後に、設計と補償に関する協定を名古屋鉄道株式会社と締結し、同社が詳細設計を行い、施工計画を立案して整備スケジュールが確定するが、工事期間は概ね3年必要であると聞いている。

名古屋鉄道株式会社としても、2026年アジア競技大会を整備目標と捉えており、現在の予定では令和5年度から工事に着手し、令和7年度の完了を見込んで聞いている。

質問

パンデミック等により世界ラリー選手権の開催に支障が生じた場合は、今回の補正予算に係る経費はどのようになるのか。

答弁

パンデミック等により開催に支障が生じ、やむを得ず大会が中止となった場合は、中止となった時点までに発生した費用、例えば、海外からの資機材輸送費等、この費用を上限として、協議の上清算することになる。

あらかじめ長期にわたって開催の見込みが立たないことが予想される場合は、早い段階で中止の決定をすれば、清算する費用を抑えることができる。



市政を問う!

12月6日から8日にかけて、17人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

杉本 寛文

自民クラブ



- ウィズコロナに向けた本市の今後の対応
- 交通事故ゼロを目指した交通安全対策

質問 交通事故ゼロの豊田市を目指して

社会経済情勢の変化に伴い、時代のニーズに応える交通安全の取組が必要。今後の交通環境を見据えた、交通安全対策について市長の想いを問う。

答 弁 市長

自動運転技術や先進安全技術の高性能化が進み、普及することで、交通事故の流れを大きく変えるものと期待する。本市における交通事故情勢について、事故における死傷者数は平成17年をピークに、令和2年は約3分の1にまで減少することができた。第11次豊田市交通安全計画や交通事故多発地点対策計画などの各計画を踏まえて、交通事故死傷者数の減少につなげていきたい。先端技術の先駆け的な導入を見据えた対策を取り入れるなど、本市の強みを生かしながら交通安全対策を進めていく。



交通安全マスコットキャラクター「シグナルちゃん」

榎屋 小百合

公明党



- 防災・減災対策
- がん対策

質問 アピアランスケアへの支援

医療用ウィッグや補正下着などは、

金額に幅はあるものの高額であり、患者にとって経済的な負担となる。アピアランスケアの必要性及び補助制度創設の考えを問う。

答 弁 保健部

がんへの罹患やその治療に伴う外見の変化は、患者に心理的な負担や苦痛を与える可能性があり、その支援であるアピアランスケアには大きな意義があるものと認識している。本市としては、アピアランスケアに係る補助制度の令和4年度の創設に向け、必要な検討を実施していく。

大石 智里

公明党



- 摂食障害患者の支援
- 公共施設予約システムの利便性向上

質問 摂食障害患者の現状と支援体制

摂食障害への理解と普及・啓発・支援において、行政機関が担う役割は大きい。摂食障害への理解と普及・啓発、また本市が行う支援の取組等の周知に対する市の見解を問う。

答 弁 保健部

摂食障害患者は、自ら具合が悪いと言わないことが多く、周囲が気付きにくいことがある。また、「治す気がない」という誤解も根強い為、支援者側が疾患の特徴を正しく理解しなければ、重症化や治療が長期化する可能性もある。摂食障害という疾患に対する周知啓発活動は、予防と支援連携の観点から非常に重要であると認識しており、本市としては、摂食障害全国支援センターが運営する「摂食障害情報ポータルサイト」を参考に、ホームページを活用するなどして情報発信していく。

岩田 淳

自民クラブ



- 健全な財政運営維持に向けた取組

質問 財務諸表を活用した財政運営

財務諸表の予算決算審議への活用を提案するが、市の見解を問う。

答 弁 企画政策部

現行の予算決算制度は、現金収支を議会の民主的統制下に置くことで、予算の適正確実な執行を図るという観点から採用されている。地方自治法上、決算は会計管理者が調製し、市長に提出後、監査委員の審査に付され、市長は、監査委員の意見を付して議会の認定を得ることとなっている。予算決算審議において、財務諸表に関する法令上の定めはないが、今後も議会への情報提供を継続し、必要な内容説明を行い、適切な情報提供の在り方について検討していく。



議場での予算決算委員会の様子

根本 美春

諸派



- 保育・放課後児童クラブにおける公的責任
- PCB廃棄物処理事業期限

質問 市民への公開説明会の開催

2010年に発生した豊田市内の事業所におけるPCB漏洩事故は、当時、公開での説明会を行ったのか。今回の国の要請に対する、市民への公開説明会の開催について問う。



※質問順に掲載しています。

※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団 市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

一般質問

答 弁 環境部

これまでの漏洩事故時には説明会を開催していないが、公開の安全監視委員会への報告や委員会だより等により、関係自治体、周辺住民への情報提供に努めてきた。今回の要請に関しては、現在、国とJESCOと共に、関係自治体へ詳しい説明を行っている。地域住民に対しては、関係自治体の意見・意向を踏まえて対応していく。また、一般市民の方が要請内容の説明を受ける機会を設けることも予定し、国との協議を行っている。

杉 浦 健 史

自民クラブ



- アジア大会を見据えた都心づくり
- 全ての市民に向けたデジタル社会の実現

質 問 都市施設の整備方針

丁寧に計画を進めていくことは大切だが、2026アジア競技大会までを整備の目標年とすべき。「豊田市駅周辺全体の整備目標」として、その考えを問う。

答 弁 都市整備部

都市施設の整備においては、事業効果の早期発現を目指し、都心環境計画における「魅力創出重点ゾーン」である愛知環状鉄道新豊田駅から豊田市停車場線と竹生線交差部までの区域を中心に事業を進めている。2026年開催予定のアジア競技大会では、多くの来街が予測されることから、事業を進める上での一つの目標時期として捉えており、まずは安全・安心に関わる耐震補強工事を最優先に推進し、効率的かつ効果的な施工計画を立案し、整備目標を定めていく。



豊田市駅前の様子

神 谷 丈 一

自民クラブ



- 消防本部の充実と強化を目指して
- 行政手続きのデジタル化に向けて

質 問 電子契約の導入に向けて

入札を始めとした契約手続きの一連の流れが電子化されている状況である。電子契約制度の導入をすべきと考えるが、本市の見解を問う。

答 弁 総務部

これまで、電子契約の導入に向けた他の自治体の動向を注視すると同時に、電子入札のように、県下自治体による共同導入という可能性も探ってきた。既に多くの自治体が独自に検討を進めており、実証実験も始まっている。この現状を踏まえ、豊田市デジタル強靱化戦略における、行政サービスが便利になったと感じてもらえるような変化・改革を確実に実現するためにも、本市も令和4年度に電子契約の実証実験に取り組んでいく。実証実験で課題等を洗い出し、精査した上で検討を行う。

福 岡 靖 純

自民クラブ



- 市民の利便性向上に向けて
- 気候変動と災害対策(業務継続計画)

質 問 今後の業務継続計画(BCP)の策定

大型台風等の発生が起きる昨今、新たなハザードマップの情報を加味

した最新の災害情報でBCPを見直す必要がある。今後の改定等の予定を問う。

答 弁 地域振興部

今後、BCPの改定については、平成28年度の豊田市地震被害予測結果の場合と同様に、今年度実施している豊田市水害被害予測調査の完了後に進めていく予定である。具体的には、この調査結果に基づき、令和4年度に調査結果の公表を行い、被害予測や災害対応シナリオの改定を実施した後、令和5年度に風水害のBCPについて改定を実施する予定である。

窪 谷 文 克

自民クラブ



- 在宅医療と福祉の連携
- 職員の定年延長

質 問 在宅医療・福祉連携推進後期計画の取組

国では、医療的ケア児への支援策を検討するとしており、本市でも医療的ケア児への支援策を今後検討していくべき。支援に対する市の考えを問う。

答 弁 福祉部

医療的ケア児に必要な在宅療養支援については、国の「在宅医療及び医療・介護連携に関するワーキンググループ」で10月から検討されている。引き続き、国の動向を注視し、在宅医療・福祉連携推進会議において、対応方針について協議を進める。必要な支援を検討する上で、医療的ケア児に関する現状と課題を整理する必要があることから、医療機関等へのアンケート調査等の実施を検討する。整理した課題については、在宅医療・福祉連携推進会議において協議し、次期計画に反映していきたい。



市政を問う!

水野博史

自民クラブ



- 再犯防止の推進をめざして
- 中央公園第二期整備を契機としたまちづくり

質問 中央公園第二整備を契機としたスポーツ戦略

スポーツを成長産業として捉え直す新たな視点が必要。まちづくりを視点としたスポーツ戦略をどう考えるのかを問う。

答 弁 生涯活躍部

〔(仮称)第4次生涯スポーツプラン〕では、施策の柱の1つとして、スポーツを楽しむ風土の醸成を位置づけ、「本市ゆかりのアスリート及びスポーツチームの応援・交流の促進」、「豊田スタジアム、スカイホールを活かした「見る」スポーツの推進」、「地域経済の活性化に効果的なスポーツツーリズムの取組の推進」の3つの方針を掲げている。スポーツ大会の誘致を引き続き行い、市スポーツ協会や関係団体、市内事業者との連携を図り、地域経済活性化に向けた取組を進め、まちづくりを視点としたスポーツ戦略を計画していく。



豊田スタジアム

鈴木孝英

市民フォーラム



- 交通事故の無いまち、豊田市をめざして

質問 道路交通環境の整備

免許を自主返納する高齢者が年々増える中、免許返納と移動手段

の確保はセットであると考え。公共交通の空白地区やラストワンマイルの課題にどう取り組むのかを問う。

答 弁 都市整備部

毎日運行の鉄道やバスを利用できる市民人口カバー率は8割を超え、曜日限定のサービスを加えると9割を超える。公共交通空白地区は市内に7か所あるが、移動手段確保の必要性を検討する。移動手段確保は、地域が主体となって協議を進め実践することが重要であり、市としても取組を支援する。バスやタクシー等の既存の移動手段だけでなく、新たな移動手段を含めた様々な移動手段を組み合わせ、自助・共助・公助の適切な分担の下で、高齢者の移動を支援する仕組みづくりに取り組んでいく。



鞍ヶ池地域タクシー

古木吉昭

市民フォーラム



- 公共建築物の変革期への対応

質問 公共建築物へのカーボンニュートラル

公共建築物エネルギー消費の見える化を提言し、考えを問う。

答 弁 環境部

現在、各公共建築物のエネルギー消費量を基に、温室効果ガスの総量を算定し、国へ報告するとともに、毎年度発行する環境報告書に掲載している。公共建築物ごとのエネルギー消費量は、毎年度、施設管理者へ増減傾向をフィ

ードバックすることで、省エネ改修や日々の運用改善に努め、市役所全体から排出されるCO₂削減に取り組んでいる。今後は、市民への見える化と施設利用者へのカーボンニュートラルに対する意識向上につなげていきたい。

吉野英国

市民フォーラム



- カーボンニュートラルへの取組の推進

質問 豊田市版脱炭素ロードマップの取組

CO₂排出に大きく関わる産業部門の中でも、カーボンニュートラルを軸とした体制を取ることが難しい中小企業への支援が必要。産業部門への事業活動支援を問う。

答 弁 産業部

本市の産業部門のカーボンニュートラルの達成には、CO₂排出量の割合の多くを占める製造業における削減への取組の中で、製造主体となる中小企業への支援が特に重要である。令和3年7月に実施した市内製造業のうち、中小企業への調査では、カーボンニュートラルに取り組むための課題は、上位から「予算がない」、「取り組み方が分からない」、「取り組むための人材がない」との回答であった。この調査結果や、市内中小企業へのヒアリングなどを踏まえ、ニーズに合った効果的な支援策を検討していく。

日當浩介

市民フォーラム



- 利用の実状に合った道路管理
- 再生可能エネルギーの取組方針

質問 再生可能エネルギー目標達成に向けた取組

2050年のカーボンニュートラルの実現をどのように描き、その上で



議員氏名
会派名



○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
実際に質問した内容(小項目)

答 弁 回答した部局名
質問に対する市の担当部局の回答

再エネの拡大をいかに進めていくのか。市長の想いを問う。

答 弁 市長

2050年のカーボンニュートラルを実現するために、これまで以上に「徹底的な省エネルギー」「再生可能エネルギーの最大化」「エネルギーのマネジメント」の取組を進める必要がある。これらの取組は行政だけでは進めることができず、市民、事業者と一体となって進めていく必要がある。本市でのカーボンニュートラルを実現し、日本のカーボンニュートラル実現をリードしていく。今後も再生可能エネルギーの普及促進に取り組むとともに、本市の取組状況を国内外に向けて情報発信し、次へとつなげていくことも重要であると考えている。

近藤厚司

自民クラブ



○大規模災害に備えた土地の管理
●これからの認知症支援

質問 地域で支える仕組みづくり

認知症サポーターの組織化を図り、地域で支えるやさしい仕組みの地域づくりを推し進めるべき。市の見解を問う。

答 弁 福祉部

本市には、3万人を超える認知症サポーター養成講座の修了者がおり、それぞれが自分のできる範囲で、認知症の人や家族を応援している。サポーターの組織化に関しては、既存の地域活動団体との連携を方法の一つと考える。これに加え、認知症サポーター養成講座を受講した人のうち、具体的な活動を希望される方を登録する制度を立ち上げ、各包括支援センターとサポーターを直接結びつけ、支援の依頼を行う

仕組みの検討を進めている。インセンティブとして、例えばSDGsポイントを付与することなども検討している。

岡田耕一

諸派



○本市の屋外体育施設のあり方
●本市における責任をもったトイレ整備

質問 都市公園トイレ

基本的な考え方としてのトイレの整備方針を明確にして、改修計画を策定し、市民に快適で使いやすいトイレに整備、改修を進めるべき。所見と今後の対応を問う。

答 弁 都市整備部

今後のトイレ整備については、公園の性質等による利用者の想定のほか、周辺の土地利用や民間施設を含めた施設の立地状況など変化を踏まえて、必要性を判断していく。なお、利用想定が自宅からの徒歩圏内である街区公園については、今後とも新たなトイレの設置は行わないことを基本と考えている。既存のトイレの改修に当たっては、補修費や今後の維持管理コストを考慮しつつ、長く使えるように努めていく考えである。

奥村峰生

自民クラブ



●災害への備え
○景気回復に向けた飲食店などへの支援

質問 マイ・タイムライン作成支援

避難計画・マニュアル作成について、取組の一例として、立体駐車場や、車での指定場所への避難等を検討している地域もある。中心市街地のマイ・タイムライン作成支援について問う。

答 弁 地域振興部

中心市街地の作成支援状況として具体的な事例を挙げると、8月に崇化館地区コミュニティ会議の約30人に対して、マイ・タイムラインの作成につながる新洪水ハザードマップについて説明を行った。また、11月には、一区自治区において、住民の主体的な判断に基づく避難行動を検討する内閣府モデル事業として、本市のマイ・タイムライン作成支援と同様な「逃げどきマップ」の作成を、約30人に対してワークショップ形式で実施するなど、具体的な避難行動につながる支援を実施した。



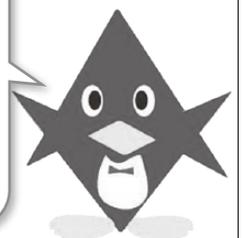
マイ・タイムラインシート

一般質問とは

議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め又は質問することです。

定例会でのみ行われます。一般質問の順番は、くじ引きによって決まります。

代表質問・一般質問の様子は、豊田市議会ホームページから視聴できますので、ぜひご覧ください!





豊田地域医療センターに地域リハビリテーションセンターが開設

市議会でも議論を重ねてきた地域リハビリテーションセンターが、令和3年11月8日に豊田地域医療センターに開設されたため、現地の視察を行いました。

病院から自宅へ移る際の自宅仮想体験が可能なロボティクススマートルーム、移動困難な人が生活範囲を広げられる移動機器を展示・体験することができるモビリティトライアルルームなどで構成されています。先進技術の導入による、地域リハビリテーション及び在宅療養の推進が期待されます。



ロボティクススマートルーム



視察の様子

一般質問の生中継・録画放送

個々の議員が市政全般について、事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求める一般質問の様子を、ケーブルテレビ(ひまわりネットワーク)で生中継・録画放送をしています。

映像には、手話通訳者の囲み映像(ワイプ)も表示されます。録画放送は、豊田市議会ホームページで御覧いただけます。ぜひ御覧ください。



一般質問の様子と議会中継の映像

市議会の予定

3月市議会定例会は2月18日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」についてのご意見・ご感想、また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】 豊田市議会事務局

〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL.0565-34-6665

FAX.0565-34-6566

Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

★代表・一般質問の様子を視聴できます★



豊田市議会
ホームページで

インターネット録画放送 <http://toyota-shigikai.jp/>
豊田市議会 検索 「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!



「市議会だより」のバックナンバーや
会議録もご覧いただけます。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

一般質問の様子をスマートフォン等から
閲覧できるようになりました。

※パケット通信が必要になりますので、
携帯端末等での視聴はWi-Fi環境を
おすすめいたします。



ケーブルテレビで

ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)



FMラジオで

FMとよた(ラジオ・ラビート)生中継
チャンネル/78.6MHz

※この冊子は、折込み「12月市議会定例会号」です。



豊田市議会は、古紙配合率70%の再生紙と植物油インキを採用しています。